

GMO CLOUD

GMOクラウド

証券コード3788

2018年 第2四半期
決算説明資料

免責事項

- ✓ 本資料の内容は、作成日時点において、一般的に認識されている経済・社会等の情勢ならびに当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- ✓ 本資料およびその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、第三者がその他の目的で公開または利用することはできません。

1. GMOクラウド会社概要

2. 2018年 第2四半期決算概要

3. 事業概況

- ✓ クラウド・ホスティング事業
- ✓ セキュリティ事業
- ✓ ソリューション事業

1. GMOクラウド会社概要

GMOクラウド会社概要

会社名	GMOクラウド株式会社
証券コード	3788（東証一部）
設立	1997年 5 月 株式会社アイル
事業内容	総合インターネットサービスの提供
主力事業	クラウド・ホスティング事業（クラウドサービス・ホスティングサービス） セキュリティ事業（電子認証サービス） ソリューション事業（IoT関連、O2Oアプリ、電子契約、ネットワークエンジン、 車両遠隔診断、車両流通（中古車フリマサイト））
親会社	GMOインターネット株式会社（東証一部：9449）被持株比率51.3% *2001年5月 GMOインターネットグループへ参加
子会社	15社 連結13社(国内6社、海外7社) 非連結2社（2018年6月末現在）
従業員数	連結 914名（2018年6月末現在）

GMOクラウドの事業領域

【インターネットの安全を支える】

1. 安全なクラウド基盤の提供
(クラウド・ホスティング事業)
2. 電子認証により、通信（取引）を守る
ID管理により、利用者の入り口を守る
(セキュリティ事業)

【企業のクラウド利用を支える・便利にする】

3. 「IoT関連」、「O2Oアプリ」、「電子契約」
「ネットワークエンジン」、「車両遠隔診断」
「車両流通（中古車フリマサイト）」
(ソリューション事業)

2. 2018年 第2 四半期決算概要

セグメント別トピックス ハイライト

クラウド・ホスティング事業

- 法人向けレンタルサーバー「iCLUSTA+」に「SSLサーバー証明書」を無料提供開始

セキュリティ事業

- 常時SSL化（全ページSSL証明書付け）影響もあり売上増加
- Adobeの「クラウド署名コンソーシアム」に加盟
- 企業向けシングルサインオンサービス「SKUID byGMO」IDP連携機能を業界最安値で提供開始

ソリューション事業

- 電子契約サービスAgree、外部企業サービスとの連携強化
- O2Oアプリ、プラットフォーム型「わが街サーチ」提供開始

2018年 第2四半期連結決算概要[累計比較]

単位 百万円	2017年Q2実績	2018年Q2実績	前年同期比
売上高	6,014	6,240	+ 3.7%
営業利益	476	701	+47.1%
親会社帰属利益	362	524	+44.8%
EBITDA※	542	762	+40.5%

※EBITDA: 営業利益 + 販売管理費減価償却費 + のれん償却費

【押し上げ要因】

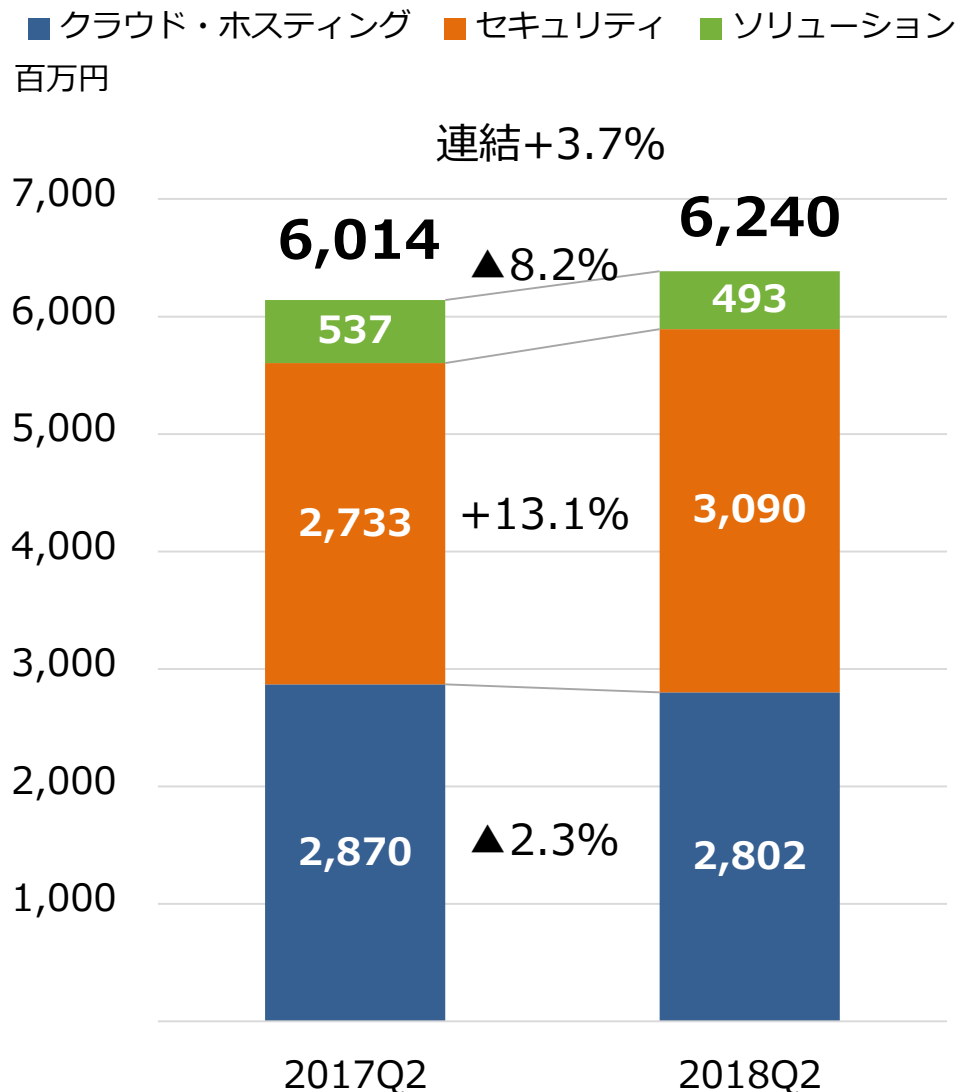
- ✓ セキュリティ事業が連結業績を牽引し、増収増益を達成
- ✓ クラウド・ホスティング事業とセキュリティ事業の売上原価減少

【押し下げ要因】

- ✓ セキュリティ事業拡大に伴なう人員増加による人件費の増加
- ✓ 新規事業関連費（研究開発費/ソフトウェア費用）の増加
- ✓ 特別損失として、投資有価証券評価損21百万円、事業撤退51百万円計上

2018年 第2四半期連結決算概要[累計比較]

セグメント別売上高 (セグメント間取引控除前)



■ クラウド・ホスティング事業

- ✓ クラウドは件数、売上高ともに増加、共用サーバー、専用サーバーは減少継続

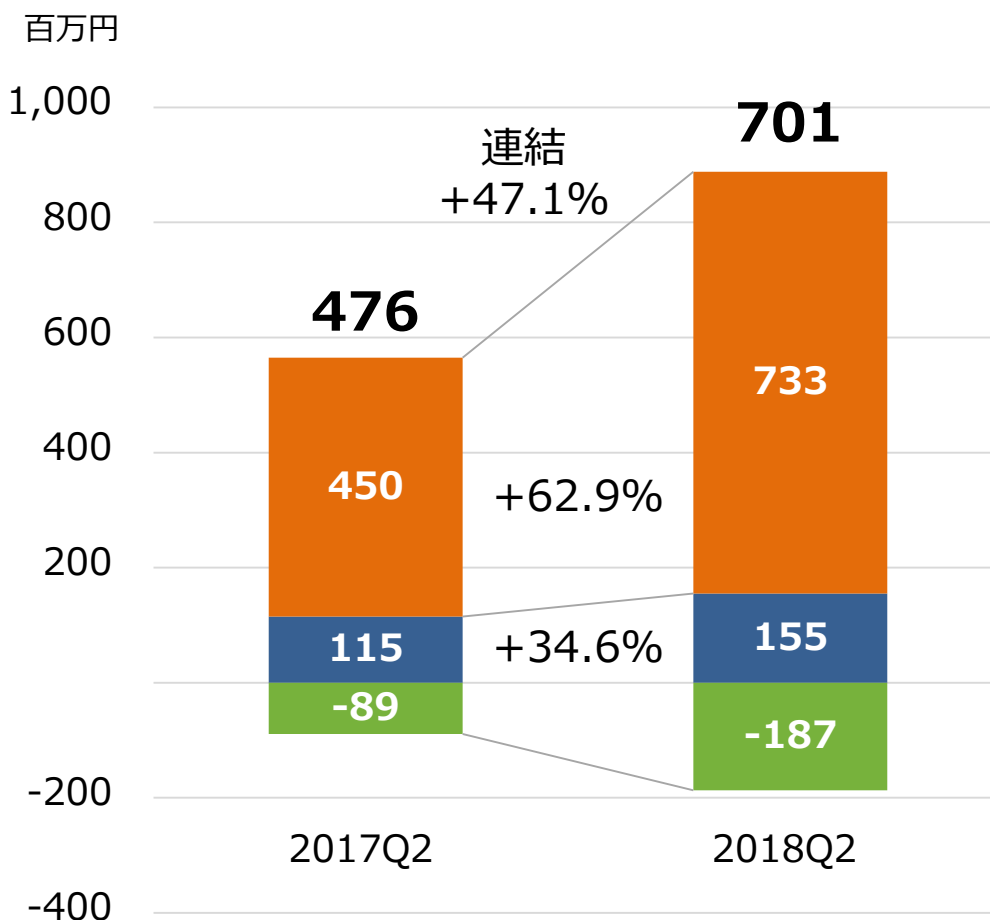
■ セキュリティ事業

- ✓ 「常時SSL化」および「EU一般データ保護規則」対応によるSSL証明書需要増加
- ✓ 国内エンタープライズ営業が好調
- ✓ アジア・パシフィック市場の売上好調推移

2018年 第2四半期連結決算概要[累計比較]

セグメント別営業利益 (セグメント間取引控除前)

■ クラウド・ホスティング ■ セキュリティ ■ ソリューション



■クラウド・ホスティング事業

- ✓ データセンターの効率化により売上原価を抑制
- ✓ 人件費、広告宣伝費の減少

■セキュリティ事業

- ✓ 売上高増加、売上原価の外注費減少による売上総利益の増加
- ✓ 人員増加による利益下げ要因

■ソリューション事業

- ✓ スピード翻訳事業売却による売上減少と新規事業の広告宣伝費等による販売管理費増加により損失増加

2018年 第2四半期連結決算概要[四半期比較]

- ✓ 売上高は1Q比で微増
- ✓ 経常利益は投資運用益の増加と為替差損減少により1Q比増加

単位： 百万円	2017年 2Q	2017年 3Q	2017年 4Q	2018年 1Q	2018年 2Q	前四半期比
売上高	3,007	3,019	3,172	3,106	3,133	+0.9%
営業利益	203	248	336	360	340	△5.6%
経常利益	232	253	332	352	385	+9.2%
親会社 帰属利益	176	183	89	231	293	+27.1%

2018年 第2四半期セグメント情報 [四半期比較]

- ✓ クラウド・ホスティング事業は、原価、人件費減少による利益増
- ✓ ソリューション事業は広告宣伝費用増加により損失増加

売上高		百万円	
セグメント	2018年 1Q	2018年 2Q	前四半期 比
クラウド・ホスティング	1,412	1,390	△1.6%
セキュリティ	1,520	1,570	+ 3.3%
ソリューション	252	241	△4.3%
消去又は 全社	-77	-68	-
連結計	3,106	3,133	+ 0.9%

営業利益		百万円	
セグメント	2018年 1Q	2018年 2Q	前四半期 比
クラウド・ホスティング	68	86	+26.0%
セキュリティ	363	369	+1.5%
ソリューション	-72	-114	-
消去又は 全社	0	-0	-
連結計	360	340	△5.6%

連結貸借対照表

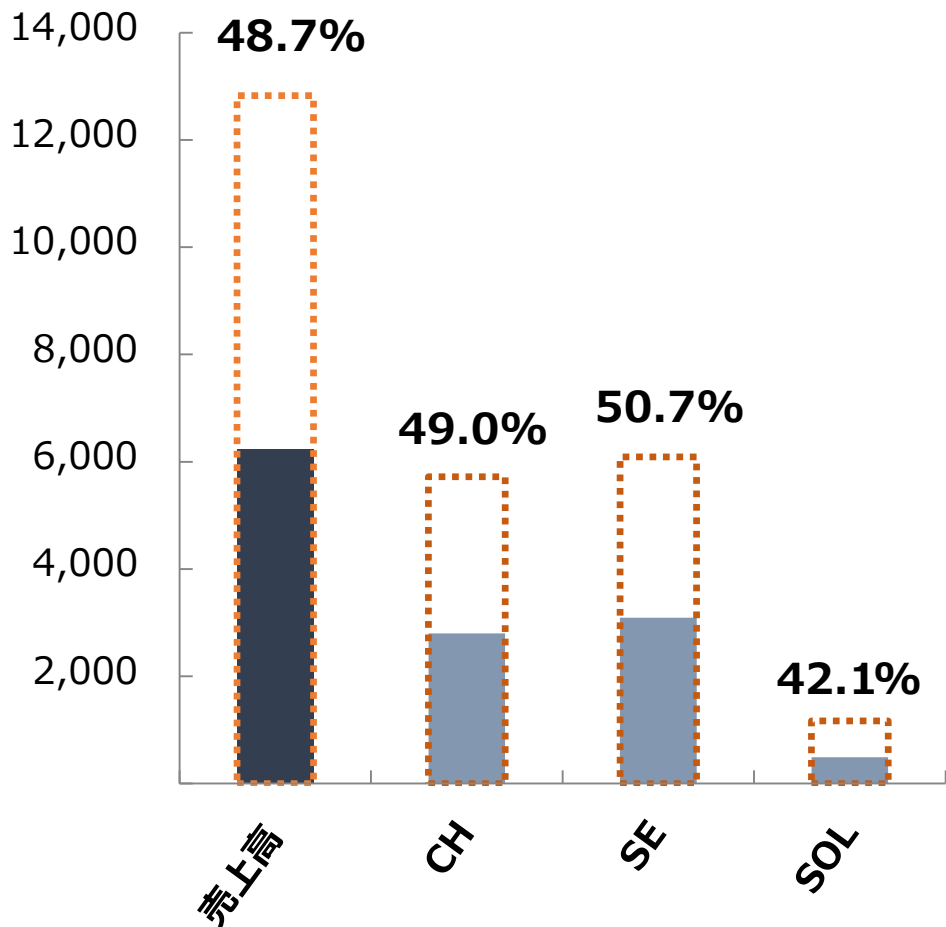
単位：百万円	2017年12月末	2018年6月末	増減率	主な資産増減要因
流動資産	5,544	5,855	5.6%	主な資産増減要因 ✓現預金 +50百万円 ✓売掛金 +81百万円 ✓ソフトウェア +52百万円
(現金預金)	3,695	3,746	1.4%	
(売掛金)	1,350	1,431	+6.0%	
固定資産	3,074	2,824	△8.1%	
(ソフトウェア)	671	724	+7.9%	
(のれん)	-	-	-	
(投資有価証券)	379	380	+0.1%	
(関係会社株式)	57	57	-	
資産合計	8,619	8,680	+0.7%	主な負債増減要因 ✓買掛金 △34百万円 ✓前受金 +37百万円 ✓未払消費税 +37百万円 ✓リース債務 △62百万円
負債	3,362	3,339	△0.7%	
(前受金)	1,554	1,592	+2.4%	
(借入+リース債務)	514	451	△12.2%	
純資産	5,256	5,340	+1.6%	
(株主資本)	4,957	5,164	+4.2%	
(その他包括利益累計)	261	150	△42.5%	
(非支配株主持分)	36	25	△31.5%	
負債・純資産合計	8,619	8,680	+0.7%	

キャッシュ・フロー概要

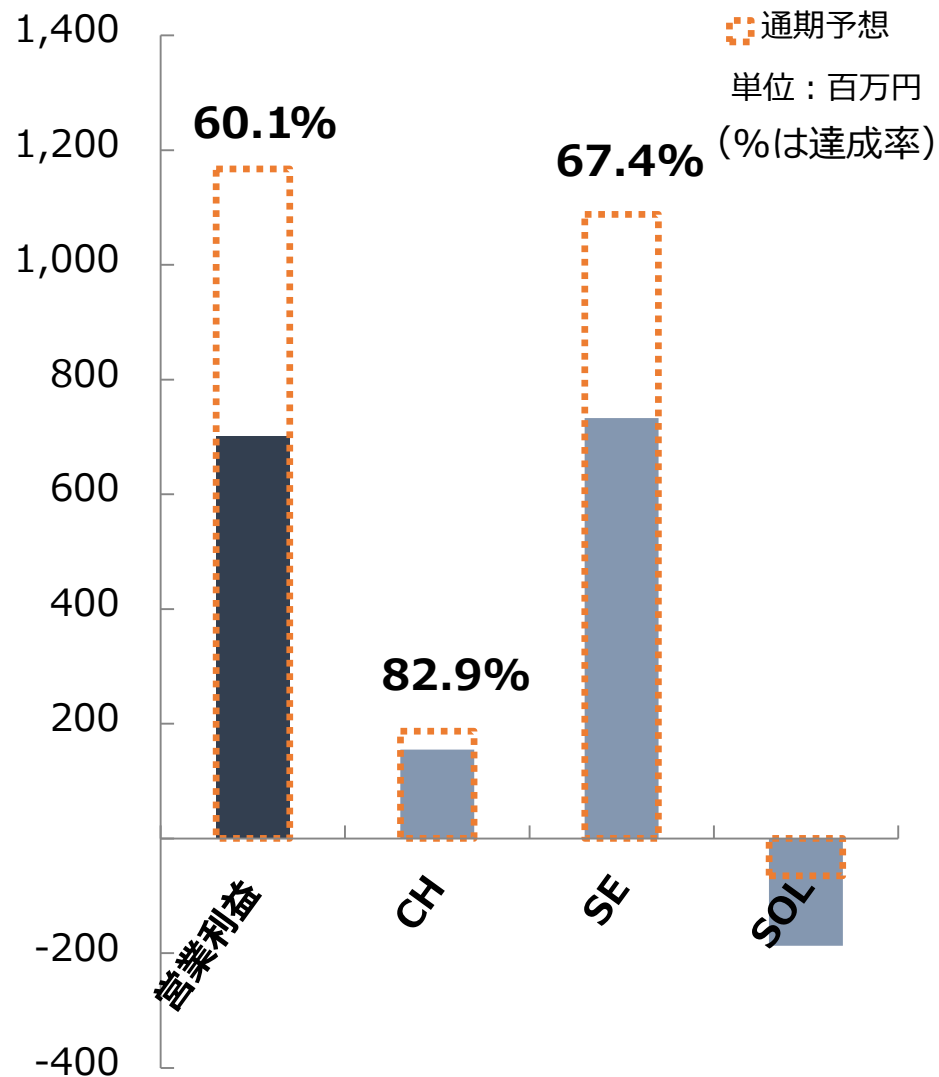
単位：百万円	2017年 2Q	2018年 2Q	主な要因
営業キャッシュ・フロー	759	922	税前利益 664百万円 減損損失 51百万円 売上債権増加 147百万円 法人税等支払 158百万円
投資キャッシュ・フロー	△295	△ 297	固定資産の取得 295百万円
財務キャッシュ・フロー	△395	△ 428	配当金支払 317百万円 ファイナンス・リース債 務返済支出 111百万円
現金同等物の増減額	+ 68	+ 100	
現金及び現金同等物の 期末残高	3,229	3,736	

2018年 業績予実比較

売上高



営業利益



CH:クラウドホスティング事業 SE:セキュリティ事業 SOL:ソリューション事業

2018年 通期業績予想

IoTおよびソリューション事業のコスト負担をこなし、
セキュリティ事業続伸により増収増益計画

単位:百万円	2017年12月期 (実績)	2018年12月期 (予想)	2017年比
売上高	12,206	12,825	+ 5.1%
営業利益	1,061	1,167	+10.0%
経常利益	1,087	1,167	+ 7.4%
親会社帰属 利益	635	700	+10.1%
1株当たり 純利益(円)	55.17	60.77	-

2018年 通期業績予想〔セグメント別〕

- ✓ クラウド・ホスティングはIoT含む新規事業費用によりマイナス
- ✓ セキュリティは、IDアクセス関連の新規事業関連の投資継続

売上高

単位： 百万円	2017年 12月期 (実績)	2018年 12月期 (予想)	2017年比
クラウド・ ホスティング	5,707	5,722	+ 0.3%
セキュリティ	5,666	6,089	+ 7.5%
ソリューション	1,093	1,171	+ 7.1%
消去又は 全社	-260	-157	—
連結計	12,206	12,825	+5.1%

営業利益

単位： 百万円	2017年 12月期 (実績)	2018年 12月期 (予想)	2017年比
クラウド・ ホスティング	263	187	- 29.1%
セキュリティ	995	1,088	+ 9.3%
ソリューション	-200	-108	—
調整	+ 2	+ 0	—
連結計	1,061	1,167	+10.0%

3. 事業概況 **クラウド・ホスティング事業**

安全なクラウド基盤の提供

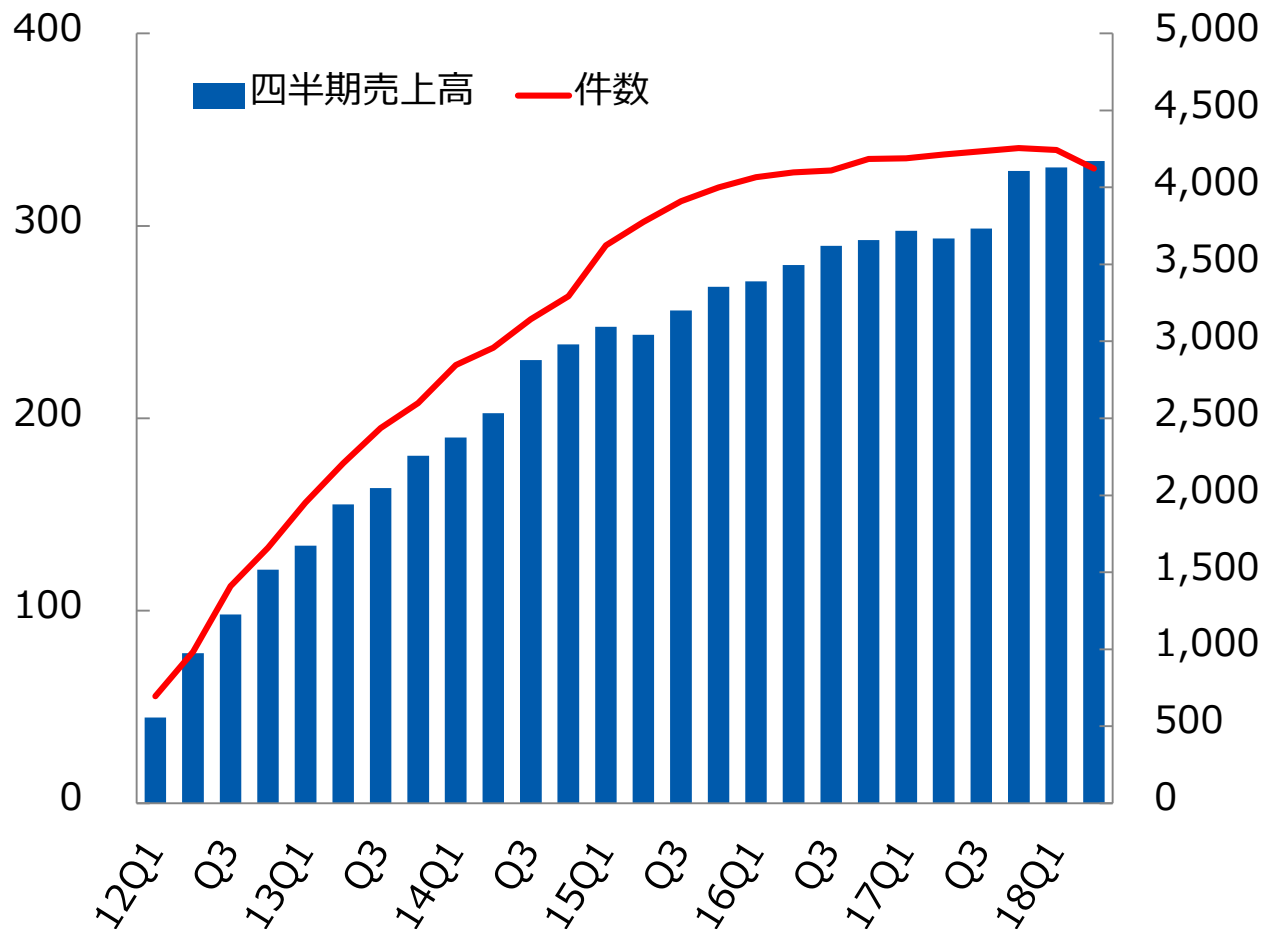
クラウドサービス売上高と件数推移

プライベートクラウド売上増加傾向

売上高
百万円

クラウド売上高及び件数の推移

件数



2018年第2四半期

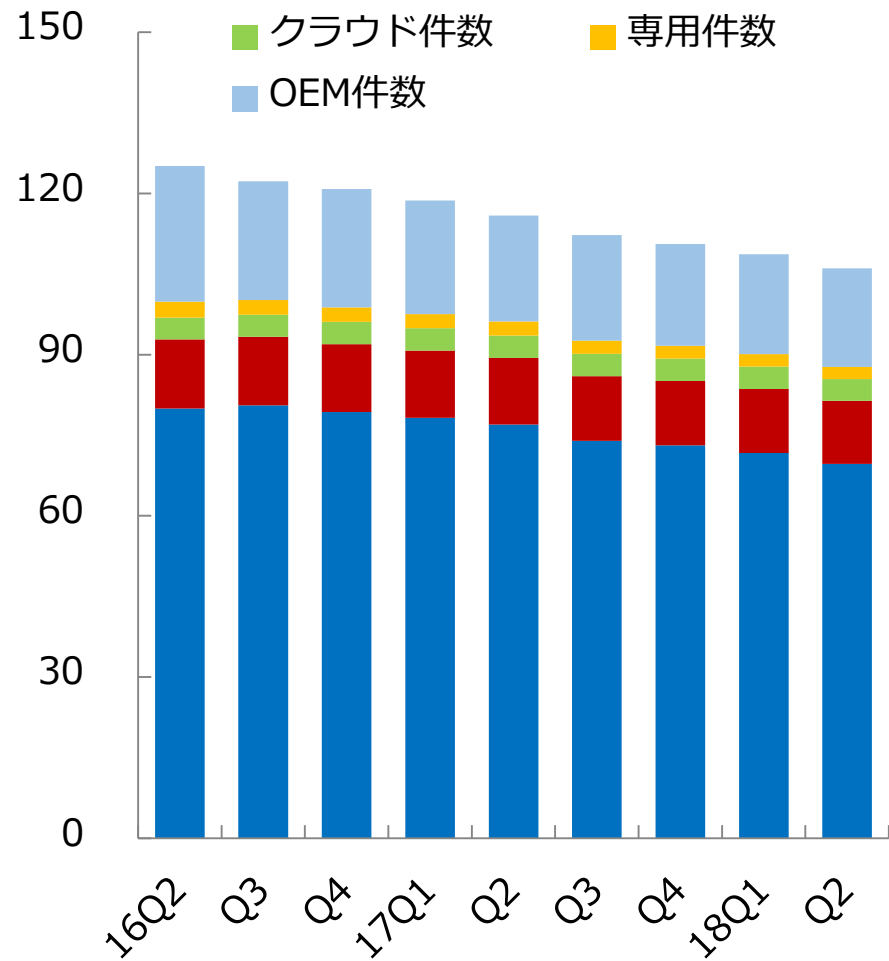
売上高：333百万円

前年同期比：

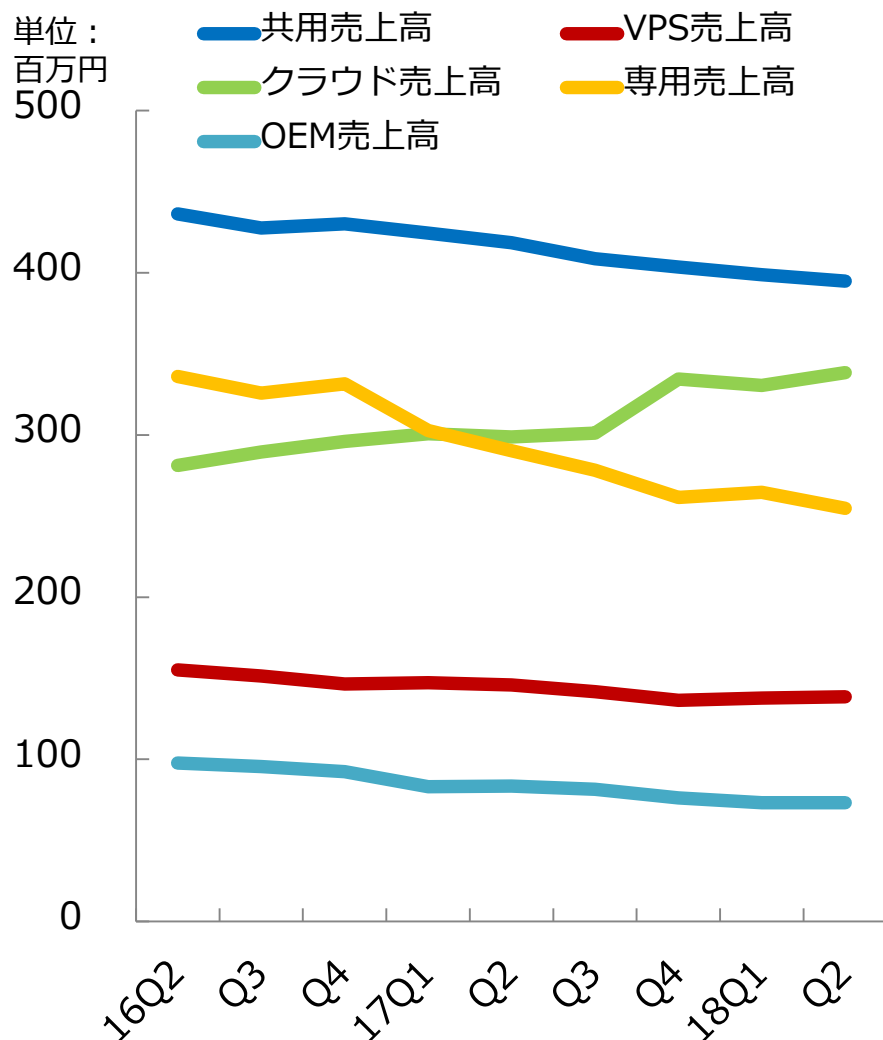
+13.7%

クラウド・ホスティング事業 商材別実績推移

四半期別 商材別件数

単位：
千件

四半期別 商材別売上高

単位：
百万円
500

3. 事業概況

セキュリティ事業

電子認証により、通信（取引）を守る

Adobeの「クラウド署名コンソーシアム」に加盟

- ✓ 認証局初！同社コンソーシアムとパートナープログラム参画
- ✓ アドビシステムズ社の電子サイン「Adobe Sign」※1とGMOグローバルサインのクラウド型電子署名※2と連携開始

連携によるメリット

Adobe Signの本人認証をグローバルサインの電子証明書で確認することができ、また多数のグローバルサインの便利な機能を「Adobe Sign」のインターフェース上から利用可能

※1 電子サインとは、署名者による文書への合意や記録の受理を示す電子プロセスの総称

※2 電子署名とは、電子サインのうち、信頼された認証局により発行された電子証明書を利用して署名者の本人認証を行うもの

「SKUID byGMO」 IDP連携機能の提供を開始

- ✓ 月額100円、業界最安値水準で提供開始！
- ✓ 引き合い多く、大手ゲーム開発会社へ導入決定済み

IDP連携とは…

外部サービスのID・パスワードから「SKUID」へのログインが可能
例えば「G Suite」を利用中の企業は、そのID・パスワードで
「SKUID」のシングルサインオンを利用可能

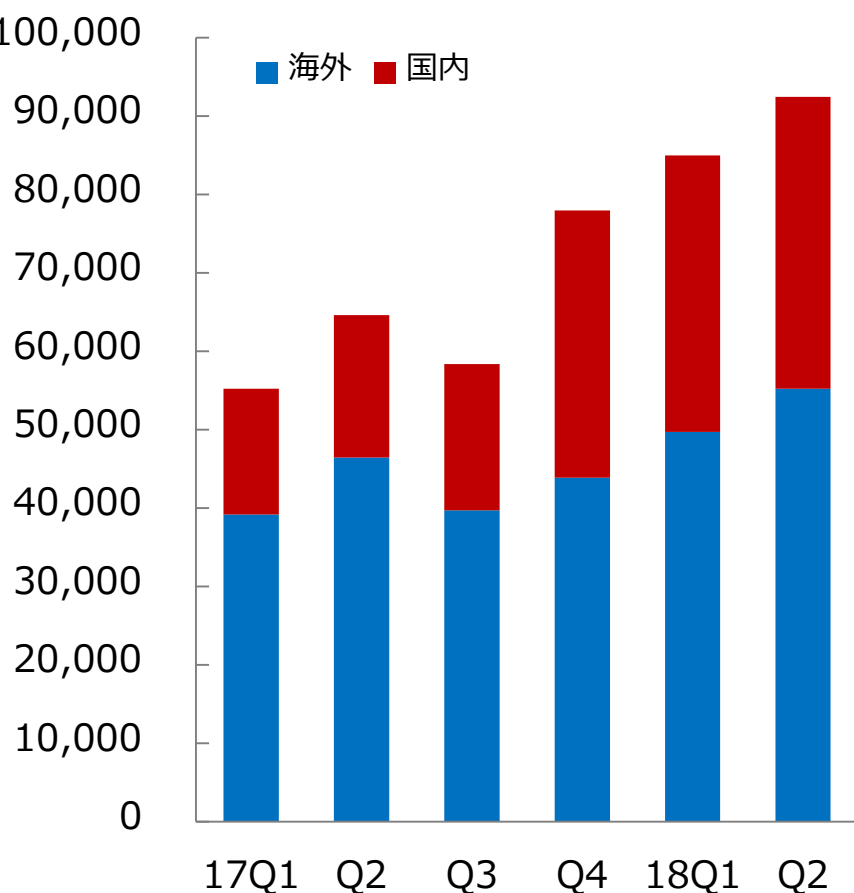
G SuiteとのIDP連携



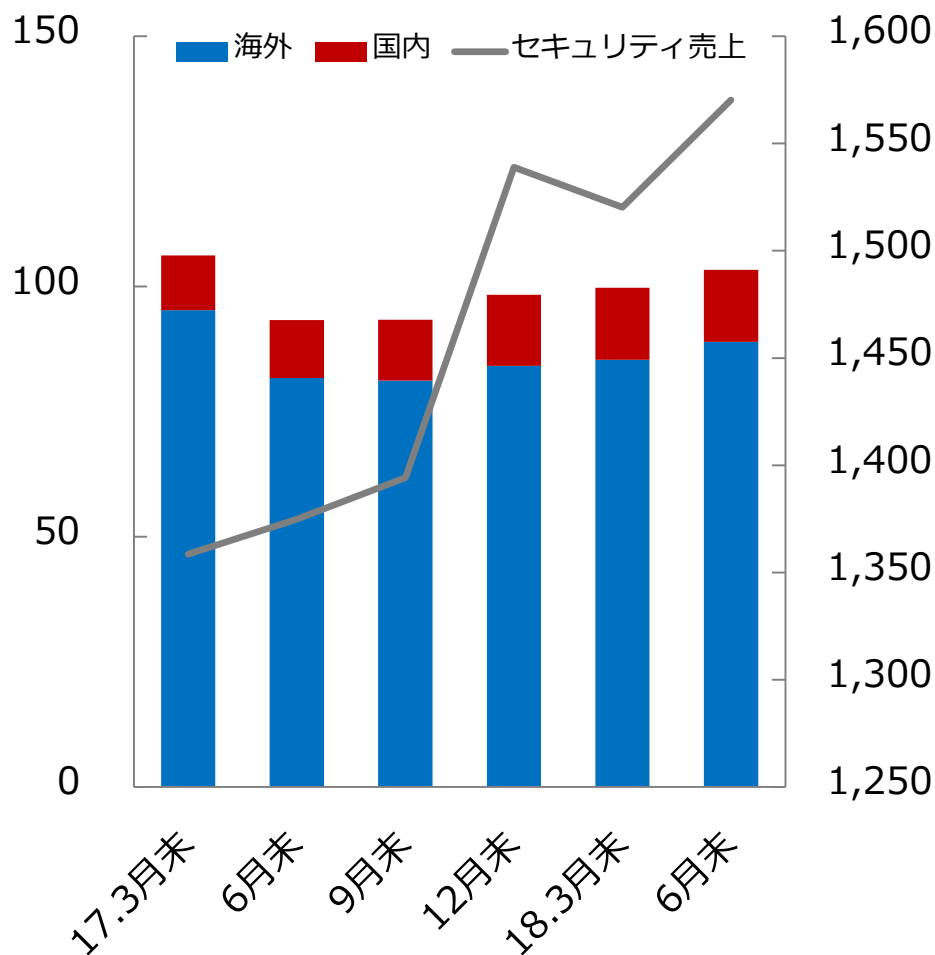
SSL証明書発行枚数

常時SSL化、EU一般データ保護規則の影響等により発行枚数増加

発行枚数 (枚) **新規発行枚数※1**



発行枚数 (万枚) **月末有効枚数※2** 売上高 (百万円)



※1 枚数無制限契約及び毎月大量発行の枚数を調整した数値

※2 有効枚数とは、現在電子証明書の有効期限内であり実際に利用されているアクティブな枚数

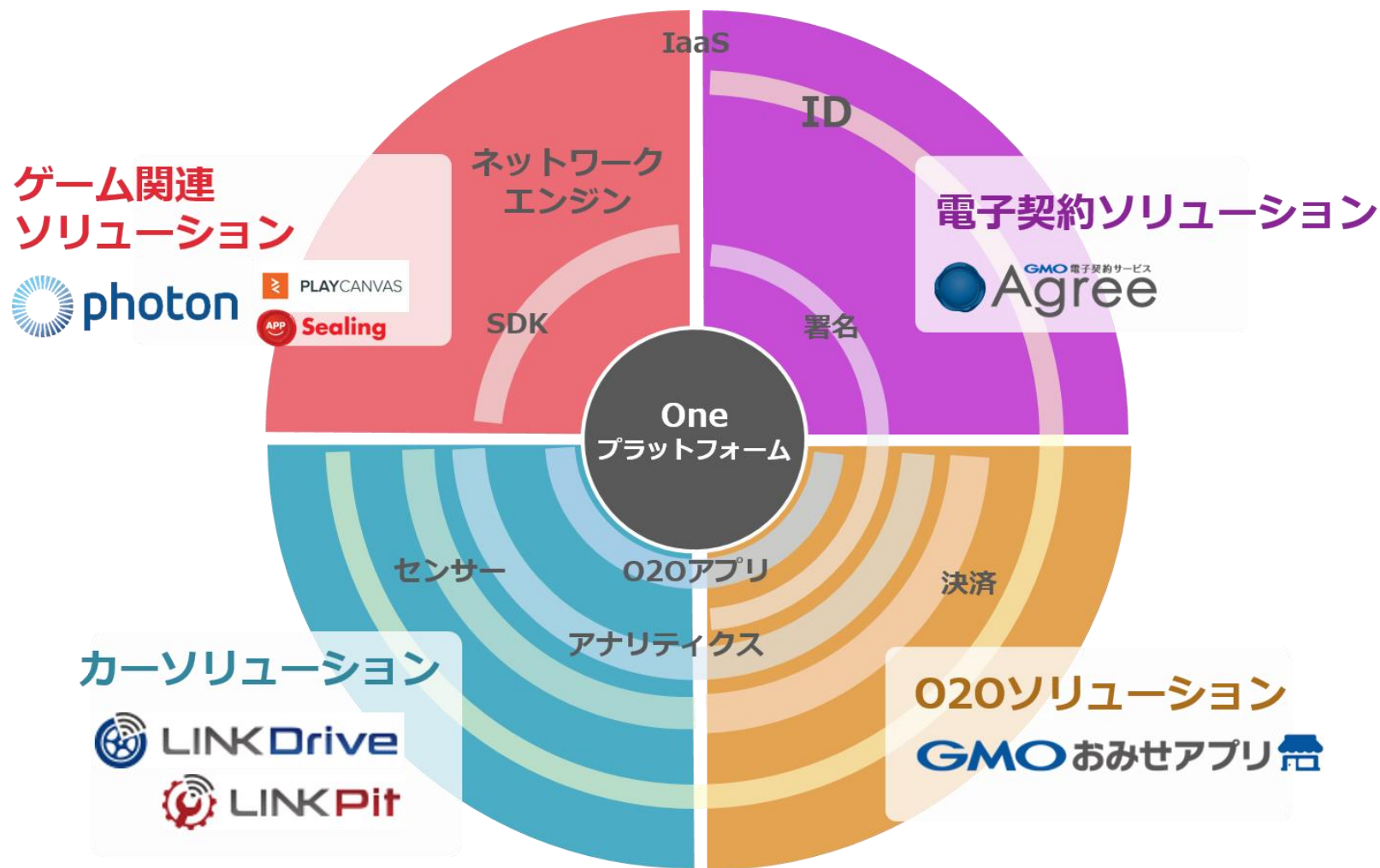
3. 事業概況

ソリューション事業

プラットフォーム IoTソリューションサービスの提供

ソリューション事業 プラットフォームサービス

データの蓄積とその活用、循環において、
各サービスがリンクしたプラットフォーム型ビジネスを目指す



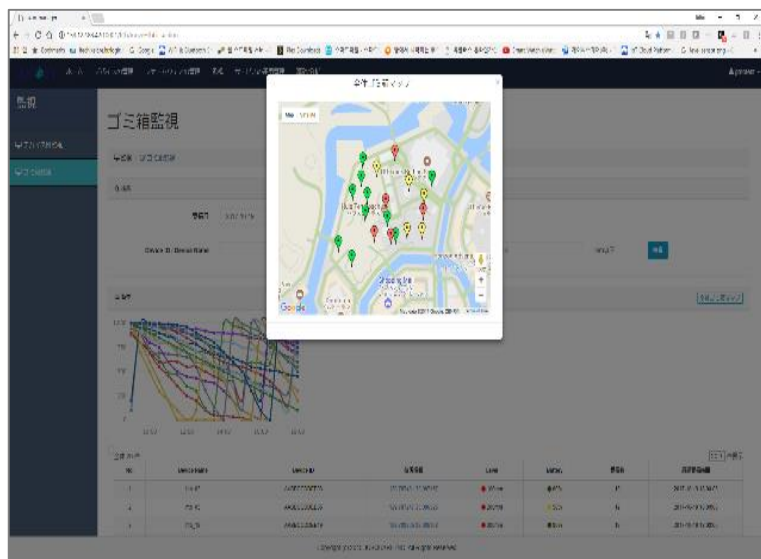
ソリューション事業 IoTサービス (IoTの窓口 byGMO)

IoTによる新しい暮らしの提案や企業の抱える課題への ソリューションの提案



IoTの窓口 byGMO トピックス

- ✓ 経済産業省「ものづくり白書」に、ハウステンボスにて実施した「スマートごみ箱」実証実験事例が掲載されました



ハウステンボス園内にIoT対応ゴミ箱を18個設置し、ゴミ箱のたまり具合を自動で把握



園内に設置されたスマートごみ箱

スマートごみ箱の実用化に向けた取組みを継続中 また、他取組みについても順次リリース予定

経済産業省HP：「平成29年度ものづくり基盤技術の振興施策」（ものづくり白書）
<http://www.meti.go.jp/press/2018/05/20180529001/20180529001.html>

IoTの窓口 byGMO トピックス 新規サービス

- ✓ スマートフォンで撮影するだけ。AIがメーターを読み取り・集計する「hakaruiハカル.aiエーアイbyGMO」β版を7月31日より提供開始



1. スマホで
撮影して点検



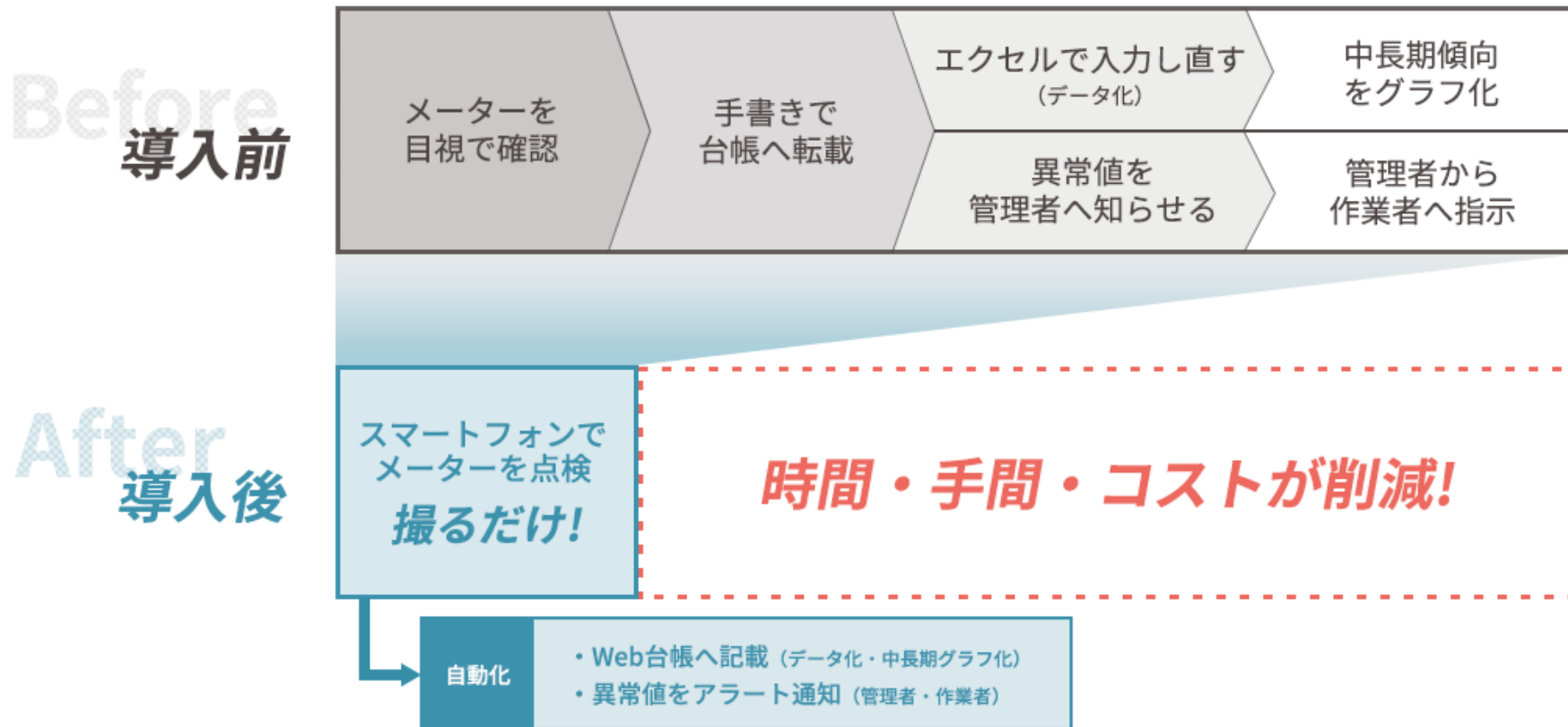
2. AIで画像認識・
自動読取



3. Web台帳へ
AIが記録

IoTの窓口 byGMO トピックス 新規サービス

「hakaruhakar.aiエーアイbyGMO」導入することで…
 日々の面倒な点検業務の時間を削減、業務の平準化、効率化を実現



※「スマートAIカメラ」アプリのインストールが必要です

GMO電子契約サービス Agree

✓ 他社からの引き合い多数、機能連携がすすむ

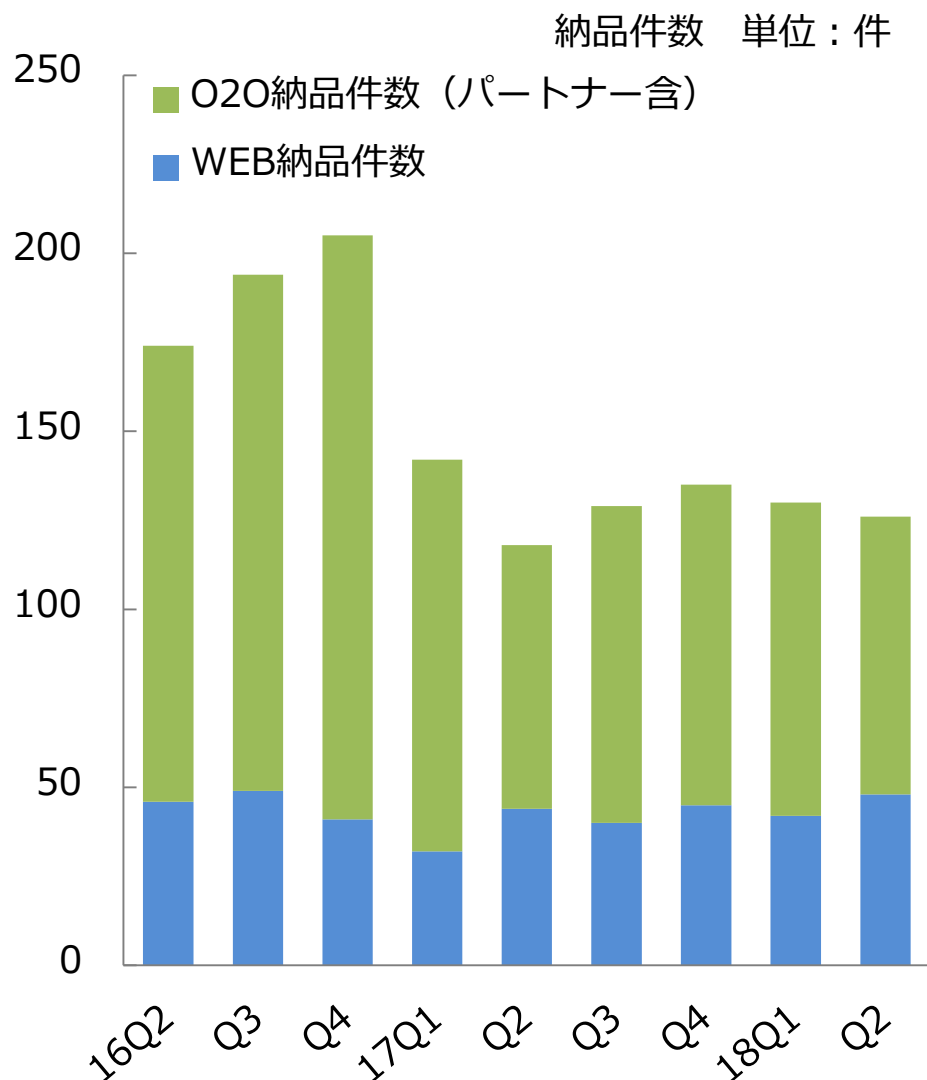
6月にはマジックソフトウェア・ジャパン社の

「Magic xpi Integration Platform」と連携開始



Webソリューション O2O※ GMOおみせアプリ

納品件数の推移



- ✓ 直販は、納品件数および売上高持ち直し、順調に推移
- ✓ 地方創生に貢献するO2Oプラットフォーム型アプリ
「わが街サーチ」の提供開始

国内ダウンロード数

139万件を突破!!

海外ダウンロード数は14万件

国内導入店舗数

3,400店超 (2018年6月末)

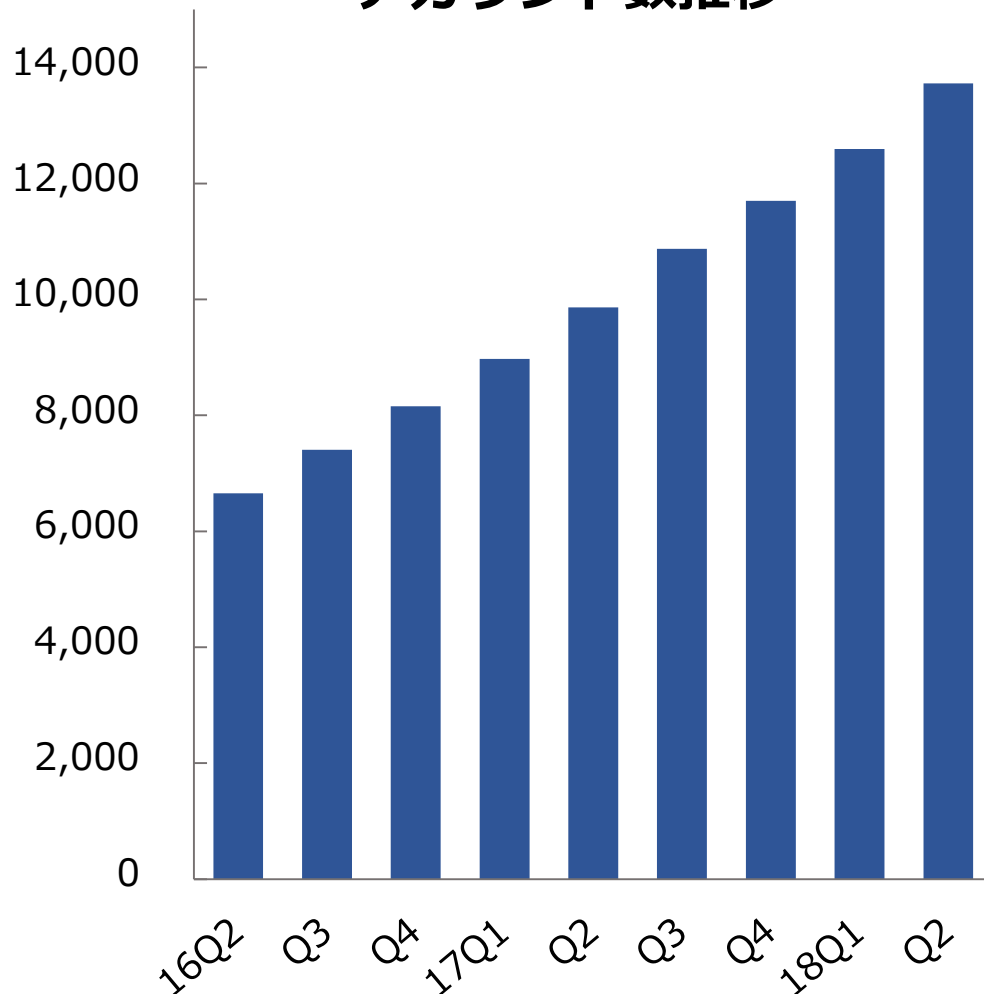
※O2O: オンラインとオフラインの購買活動が連携し合う、またはオンラインでの活動が実店舗の購買に影響を及ぼすサービスのこと

ネットワークエンジン (Photon)

Photonは、ゲーム以外にも活用されています

累計数(人)

アカウント数推移



- ✓ 5月に東京で開催された Unite Tokyo2018において、トヨタ自動車の遠隔地3D車両情報共有システムにおける Photon活用事例を紹介





GMOクラウドグループは
One GMO CLOUD へ

当資料に関するお問合せ先

GMOクラウド株式会社 社長室 IR担当 中、松下

TEL : 03-6415-6100

E-mail : ir@gmocloud.com

または <https://ir.gmocloud.com/contact/ir/> よりお問合せください。